

Key Factors to make worksheets better

本時の目標

Can-do descriptor

新出語句表

イラスト

生徒同士の活動指示や設問

本文まとめ問題

文法・語法問題

1レッスン、または1パートの目標

デザインの工夫

教科書のQ&A

ディクテーション欄

生徒の興味関心を高める工夫

negotiation of meaning
negotiation of meaning

challengingな内容

日本語⇄英語の対訳

トレーニング要素

文法のポイント

文法の説明

通し番号

自己評価欄

デザインの工夫

ハンドアウトの構成を「きれい」に整える

→生徒の頭の中の情報処理を阻害しない

※使いやすさ・作業のしやすさ

→文字情報の提示の工夫

※装飾、文字フォント、強調部分に下線・囲み

→書き込み用の広めのスペース

※思考の余白…加筆・訂正・図示

Worksheet作成で心掛けること





山＝教科書

山道＝授業の進行

道標＝ハンドアウト

①「段取り」 としての ハンドアウト

「段取り」としてのハンドアウト

ねらい・目標の明確化→結果の想定が容易

板書の労力の時短化→他の活動に振り分け

生徒が「ついて来ることができる」授業

②教科書を 補強するための ハンドアウト



教科書を補強するためのハンドアウト

- ・教科書とハンドアウトの役割分担
不十分、不要、アンバランスな部分
の補足：差し替え⇒ハンドアウト
- ・「言語活動」を作成する必要性

教科書

- ・ Introduction
- ・ 英文（レッスン本文）
- ・ 新出語句
- ・ ターゲットセンテンス
- ・ 簡素な文法説明、設問
- ・ 理解確認問題
- ・ アウトプット用問題

ハンドアウト

- ・ 理解を深める/主体的に考えるためのTask
- ・ 4技能統合型のTask
- ・ 詳しい文法説明
- ・ 文法練習問題
- ・ 日本語⇔英語対訳（語句・英文）

③ 校内で共有できる
オリジナル教材
としての
ハンドアウト



ハンドアウト共有のこれから

改善点の指摘、改良のための協働作業が必要

→**教員同士での探究型・問題解決型**

Active Learning?

苫東では、「ザックリメンタリー」と職員室での「ちょっとしたコミュニケーション」がKAIZENにつながっています！



本日のワークショップ内容と目的

- ガタ高で実践するワークシートベースの授業に触れ、「①担当教員間で到達目標を共有でき、②生徒が主体的・対話的になって、③深く考えたくなる」ようなハンドアウト作りについて知る
- 「生徒が主体的・対話的になる」「生徒と教師が深く考えたくなる」仕掛けについて「気づき」を得る

授業をデザイン
する際に大事に
していることは
何ですか？



授業をデザインする際に意識していること

4技能をバランス良く織り交ぜた**技能統合的**な授業(Integrated)

生徒の学習意欲を高めるような工夫(Ideas, Creativity, Actions)

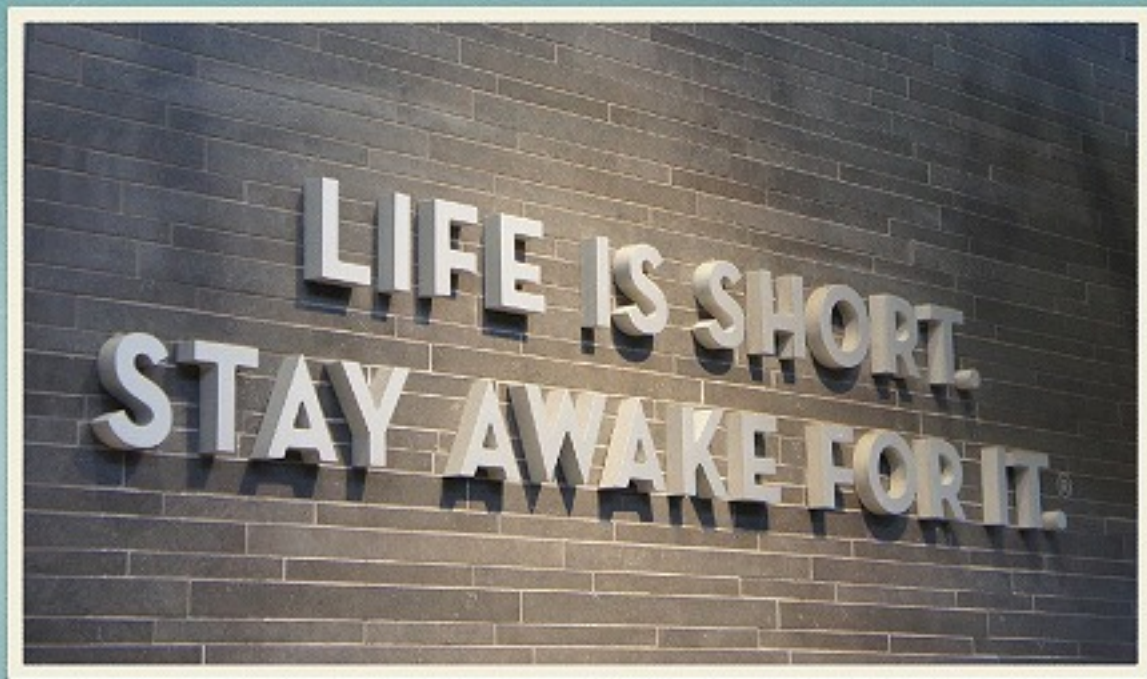
気づきのある授業(Inspiring) 「リアルな社会」とつなげる

生徒が主体的に学習する授業(Students Centered)

KAIZENを目指した**協働性**(Cooperation for the Better)

語彙・文法・表現を**スパイラルで強化**する仕掛け(Spiral Ways)

「基礎・基本」と「オーセンティックな教材」



Thank you very much!